

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第11回
滋賀県代協

代理店経営面や営業面に
役立つセミナーなど開催

一般社団法人滋賀県損害保険代理業協会(滋賀県代協)の正会員数は令和2年3月末時点で139店、湖南に位置する守山市に本部事務所を置いて活動しております。支部は湖西湖南支部と湖東湖北支部の2支部があり、それぞれが全国の統一行動である無保険バイク追放キャンペーンや地震保険普及キャンペーンなどを開催しています。

滋賀県では、地元有名大学で、国交省の職員、各種関係協会の職員、滋賀県代協会員とともに、駐輪場の約800台の二輪車の自賠責シールの点検をしています。無保険車の所有者には通知し、大学の管理課と情報を共有、協力し、無保険車撲滅を目指しました。その結果、6年前には約50台あった無保険車も昨年は数台にまで減り、大学に



無保険車追放キャンペーン

も非常に喜んでいただき、昨年から今年に2回春と秋に開催しています。また、8年前からDR Pネットワーク滋賀地区との共催で会員参加型のCSR活動として、年に一度夏の終わりに、滋賀県が生態系維持のために呼びかけているフックバスやブルーギルなどの外来魚駆除活動を日本一の湖である琵琶湖で行ってまいりました。

滋賀県庁から外来魚駆除用の釣竿を200本お借りし、滋賀県代協会員をはじめ、滋賀県の各保険会社の社員様とご家族、京都代協、奈良県代協の会員様、総勢約200名が外来魚釣りに参加し、お昼には滋賀県代協の会員の自家製カレーを参加者全員に振る舞い、最後に外来魚釣りコンテストの表彰式を行いました。毎年大いに盛り上がりつつあります。

また、代協活動に賛同していただける他業種の仲間を増やそうと、4年前より代協活動に賛同していただける賛助会員を多数募集し、令和2年6月末時点で32社にご加入いただき、イベントのたびに会員と共に代協活動を盛り上げていただいております。

滋賀県代協では数年前からセミナーの充実をはかり、全国から講師を招いております。2年前の総会では、(有)保険ネットワークセンターの宮宇地寛様をお招きし「組織経営が示す保険販売の未来 次世代の代理店経営モデル」をテーマに、また昨年の総会では、保険ジャーナリストの中崎章夫様をお招きし、「今後の保険業界動向とプロ代理店経営の活路」をテーマに、また新春セミナーでは、日本代協理事の(株)グッドサポートの中島克海様を福岡よりお招きし、「金融庁ヒアリング体験より今求められる顧客本位」をテーマにお話しいただきました。最大で172名の方にご参加いただき、いずれも盛大なセミナーとなり、昨今の体制整備や組織化など、会員代理店にとってはこれらの代理店経営に大変役立つ内容でした。

今後も滋賀県代協は、さまざまな地域貢献活動や、正会員や賛助会員の入会促進活動、セミナーの充実と開催の働きかけ活動などを通じて、会員や関係団体とのより良い関係を築いていきたいと考えております。